

Title	表紙ほか
Author(s)	
Citation	京都大学生物資源経済研究 (2000), 6
Issue Date	2000-12-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/54270">http://hdl.handle.net/2433/54270</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

# 京 都 大 学

# 生物資源経済研究

---

No.6

2000年12月

---

戦後東ドイツ農業における土地改革と新農民問題

—メクレンブルク・フォアポンメルン州 1945年—1949年—

.....足立 芳宏 ( 1)

中国における耕地減少と土地政策の新展開 .....沈 金虎 ( 43)

フィリピン食糧危機の政策要因

—市場原理主義批判— .....辻井 博 ( 65)

農産物貿易における国家貿易企業の一元的活動の市場歪曲性

について .....加賀爪 優 ( 95)

農業経営の共同化の多様化と形成の論理に関する考察

—情報的資源の調達機能を視点として— .....伊庭 治彦 (115)

## 『生物資源経済研究』規定

### 1. 編集要領

#### (1) 執筆者

生物資源経済学専攻教官とする。なお編集委員会で特に認めたものも執筆できる。

#### (2) 発行回数と別刷り

当面年1回の発行とする。別刷りは各原稿当たり20部まで無料で著者に贈呈、それ以上は著者の実費負担とする。

#### (3) 原稿の採否の決定

原稿の採否の決定は編集委員会が行う。

#### (4) 著者校正

著者校正は原則として2回行う。誤植以外の加筆・修正はできないこととする。

### 2. 執筆要領

(1) 原稿の種類は論文と研究ノートの2種とし、著者は原稿にそれがどの種類に属するかを明記する。

(2) 原稿の長さは図表を含め、和文の場合は横書き400字詰めA4原稿用紙で、50枚以内とする。

英文の場合図表を含め、A4用紙にダブル・スペース(28行、1行10~15単語)で、30枚以内とする。和文の場合英文サマリー(300単語以内)と英文題名を、英文の場合和文サマリー(800字以内)と和文題名を投稿と同時に御提出下さい。原稿はコピーを2部作成し合計3部、編集委員長ないし副委員長に完成原稿でご提出下さい。

(3) ワードプロで執筆の場合は、A4版用紙に40×40字で横書き印刷した原稿とテキスト・ファイル形式でセーブした3.5インチ・フロッピー(著者名、論文テーマ、ファイル名、使用アプリケーション・ソフト名、使用パソコン・ワードプロ機名を表記したもの)1枚をご提出ください。

(4) 特殊な専門用語・学術用語の他は原則として新仮名遣い・常用漢字を使用して下さい。

#### (5) 節項表示は

第1節、(1)、1) aのようにする。

(6) 単位は%、kg、haなどの略号を用い、数字は5億6,728万円などと表す。

#### (7) 図表

1) 加工: 分かりやすいように加工し、刷り上がりを考慮して縮約に努めて下さい。

2) 用紙: 図は上質白紙を使用し、トレースするかレーザー・プリンターで印刷したものを御提出下さい。

3) 図表題: 各論文ごとに各図表の上に、第1表、第2表、…第1図、第2図、…のように番号を順番に付け、図表題を簡潔に付けて下さい。各図表の下に出典ないし参考文献と、必要なら注を付けて下さい。

4) 位置表示: 編集作業をスムーズにするため原稿の右マージンに図表のはいる位置を示してください。

#### (8) 注

1) 和文原稿の場合、本文内の関係箇所(注1)、(注2)、…と表記してください。なお、原稿の右マージンに注の位置を示してください。全部の注を各論文の末尾にまとめて記述してください。

2) 英文原稿の場合、本文内の関係箇所を片括弧で1)、2) …と肩書きしてください。なお、原稿の右マージンに注の位置を示してください。全部の注を各原稿の末尾にまとめて記述してください。

#### (9) 引用文献

引用文献を別記する場合は和文と欧文別にまとめ、和文は著者姓のアイウエオ順、欧文は著者姓のアルファベット順に下記例に従って、( )内に文献番号を順に付けて、注の後に表記してください。また、本文中の引用方法は次の例のようにして下さい。例: 著者姓(文献番号)

#### 引用文献

(1) 並木正吉「農業保護の理由」『農業と経済』第51巻第11号、25-35頁、1985年10月。

(2) 堀田忠夫「米の消費・流通と寡占競争市場」(亀谷編著『アメリカ米産業の素顔』富民協会、1988年刊所収)。

(3) 増井幸夫『農村労働市場の計量分析』、大明堂、1995年2月。

(4) 南 亮進著『日本の経済発展』、東洋経済新報社、1981年12月。

(5) Bank of Thailand, *Quarterly Bulletin*, Vol.24 No.1, March 1984.

(6) Farrell, J., J. C. Ingram and J. M. Keynes, "Information and the Coase Theorem," *Economic Perspective*, Vol.1, No.2, 25-35pp., Fall 1987.

(7) Geertz, Clifford, *Agricultural Involution*, Berkeley: University of California Press, 1966.

(8) U.S.D.A., E.R.S., Rice, *Situation and Outlook Report*, RS-53, September 1989.

### 付 記

(1) 本規定は改正は専攻会議の承認を得なければならない。

(2) 本規定は平成7年9月14日より実施する。

## 執筆者紹介（掲載順）

足立 芳宏  
沈 金虎  
辻井 博  
加賀爪 優  
伊庭 治彦

比較農史学分野  
地域環境経済学分野  
国際農村発展論分野  
地域環境経済学分野  
経営情報会計学分野

### 『生物資源経済研究』第6号編集後記

21世紀最初の『生物資源経済研究』が出版できましたことは専攻の教官の研究成果の充実と協力の結果とうれしく思います。

紀要の出版も第6号を数え、21世紀の始まりと言うこともあってここで再評価と発展の戦略を練る必要があります。編集委員会ではこの点および執筆者の性格と出版時期などについて審議しました。この紀要の意義を慎重に再評価し将来に向かっての発展戦略の練る必要があると編集委員会は考えます。専攻教官、専攻関係者や紀要を受領されておられる方はぜひこれらの点を考察しご提言いただきたく思います。

編集委員会では『生物資源経済研究』はわれわれ専攻での研究教育発展のための重要な手段であり専攻の顔ないし広報手段としての意義があると考えました。この意義は、創刊号の編集後記に書かれた『生物資源経済研究』創刊の目的に従っており、この意義を再評価しさらに発展させることができるよう専攻教官のご協力とご努力をお願いしたいと考えます。

執筆者の性格に関しては、院生に機会を与えるとの意見をかなり検討しました。分野ごとに異なる問題、紀要の目的と性格、学会誌との関係などの点を審議しました。公費出版に関する会計上の問題は解決の可能性があることが分かりましたが、上述の紀要の意義を考え当面は教官のみの執筆を継続することにします。

出版時期に関しては紀要表紙に記している12月を実質にあわせて次暦年の3月にすることを審議しました。しかし年度内に出版することが絶対条件で、そのため創刊号以来毎年12月以前に出版する努力をしてきたので、専攻教官の協力を仰いでこの出版時期を実現するよう努力することになりました。

国際化に当たり創刊号以来の趣旨である英文など外国語での論文の提出も強く期待いたします。

では専攻教官諸氏の研究の発展と第7号以降へのご協力をお願いして筆をおきます。

1999年12月20日

「生物資源経済研究」第6号編集委員（五十音順）

浅野 耕太

足立 芳宏

伊庭 治彦

大田伊久雄

末原 達郎(副委員長)

武部 隆

沈 金虎

辻井 博(委員長)

**京都大学 生物資源経済研究 第6号**

2000年12月25日 印刷

2000年12月25日 発行

編集 京都大学大学院生物資源経済学専攻

生物資源経済研究 編集委員会

電話 075-753-6201

印刷 (株)コームラ

発行 京都大学大学院生物資源経済学専攻

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

平成 年 月 日

御中

京都大学大学院農学研究科  
生物資源経済学専攻

### 刊行物資料の送付について

このたび下記の「生物資源経済研究」を専攻紀要として刊行いたしました。御高覧いただきたく御送付申し上げます。

お手数ながら下添の受領書を御送付下さるようお願い申し上げます。

なお、今後新資料御刊行の節は御恵贈賜りたくお願い申し上げます。

記

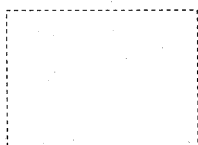
生物資源経済研究 第6号

1部

6068502

京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院農学研究科  
生物資源経済学専攻司書室 行



# 受 領 書

生物資源経済研究 第6号

1部

上記刊行物受領いたしました。

平成 年 月 日

住 所

機関名

氏 名



# The Natural Resource Economics Review

## Kyoto University

---

No.6

December 2000

---

The 'New Farmers' and Land Reform in Post -War East Germany  
— Mecklenburg-Vorpommern 1945 - 1949 —  
.....Yoshihiro ADACHI ( 1)

Decline of Arable Land and New Development of Land Policy in China  
.....Jinhu SHEN ( 43)

The Policy Factor for the Philippines' Food Crisis  
— A Criticism of the Market Fundamentalism —  
.....Hiroshi TSUJII ( 65)

Market Distortion Effects of Single Desk Trading by State Trade  
Enterprises on Agricultural Commodities Trade  
.....Masaru KAGATSUME ( 95)

Research on Diversification and Formation of the Cooperation of  
Farm Management  
— From a View Point of Function to Supply Invisible Resources —  
.....Haruhiko IBA (115)

---

Natural Resource Economics Division  
Graduate School of Agriculture  
Kyoto University